

食品安全委員会の10月の運営について（報告）

1. 食品安全委員会の開催

第162回 10月5日（木）

- ・食品安全基本法第11条第1項第1号の食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないとき（食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないとき（食品衛生法第11条第1項の規定に基づき定められたマラカイトグリーン試験法及びニトロフラン試験法）についての照会）について検討し、食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないときに該当することを確認
- ・食品健康影響評価の要請（遺伝子組換え食品等「チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ6275系統」）について厚生労働省及び農林水産省から説明
- ・農薬専門調査会における審議状況について報告（「ベンチアバリカルブイソプロピル」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・食品安全委員会の9月の運営について報告

第163回 10月12日（木）

- ・食品健康影響評価（添加物「2・メチルブタノール」について検討し、同日付けで食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知）
- ・「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等（平成18年9月分）について報告

第164回 10月19日（木）

- ・食品健康影響評価の要請（動物用医薬品4品目「エチプロストントロメタミン」、「ノルフロキサシン」、「プロチゾラム」及び「クレンブテロール」）について厚生労働省から説明
- ・食品健康影響評価（添加物「ネオテーム」について検討し、同日付けで食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知）
- ・微生物・ウイルス合同専門調査会における審議状況について報告（自ら評価案件のリスクプロファイルについて報告し、作成したリスクプロファイルは食品安全委員会のホームページで公表することとし、評価案件の優先順位については検討グループを設置し引き続き検討を行うことについて了承）
- ・食品健康影響評価の結果に基づく施策の実施状況の調査結果（平成18年10月）について審議

第165回 10月26日(木)

- ・高市食品安全担当大臣挨拶
- ・食品健康影響評価の要請(農薬「トルフェンピラド」及び動物用医薬品「トルトラズリル」)について厚生労働省から説明
- ・添加物専門調査会における審議状況について報告(「イソブタナール」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定)
- ・農薬専門調査会における審議状況について報告(「クロチアニジン」及び「ピフェナゼート」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定)
- ・食品健康影響評価(農薬3品目「ノバルロン」, 「フルベンジアミド」及び「ボスカリド」)について検討し、同日付けで食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知)
- ・食品安全モニターからの報告(平成18年9月分)について報告

2 専門調査会の運営

(1) リスクコミュニケーション専門調査会

第28回 10月23日(月)

- ・三府省におけるリスクコミュニケーションに関する取組について報告
- ・「食の安全に関するリスクコミュニケーションの改善に向けて(案)」について、国民からの意見・情報の募集を行った結果について検討。専門委員からの意見をもとに、事務局で整理した後、座長一任によりとりまとめ、委員会に報告することを決定

(2) 緊急時対応専門調査会

第19回 10月30日(月)

- ・緊急時対応訓練について検討
 - 第1回訓練(机上シミュレーション)の内容及び結果について検討し、課題を抽出
 - 第2回訓練(実動訓練)(案)について検討

(3) 添加物専門調査会

第37回 10月13日(金)

- ・「イソブタナール」及び「ポリビニルピロリドン」について検討し、に関して国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

(4) 農薬専門調査会

第4回幹事会 10月4日

- ・「クロチアニジン」及び「ピフェナゼート」について検討し、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

- ・ 確認評価部会の公開の取扱いについて了承

第5回総合評価第一部会 10月4日 非公開

- ・ 「スピノサド」及び 「チアメトキサム」について検討

第1回確認評価第一部会 10月10日 非公開

- ・ 「ジメトモルフ」及び 「フェンブコナゾール」について検討し、幹事会に報告することを決定

第5回幹事会 10月16日

- ・ 「ジメトモルフ」及び 「フェンブコナゾール」について検討

第5回総合評価第二部会 10月16日 非公開

- ・ 「アゾキシストロピン」及び 「ペントキサゾン」について検討し、 に関して農薬専門調査会幹事会に報告することを決定

(5) 動物用医薬品専門調査会

第60回 10月6日(木)

- ・ 「フルニキシメグルミンを有効成分とする馬の消炎鎮痛剤(バナミン、バナミン注射液5%)」について検討し、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定
- ・ 「アンピシリンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤(注射用ビクシリン)」について検討

第61回 10月6日(木) 非公開

- ・ 「メロキシカムを有効成分とする牛の注射剤(メタカム2%注射液)」について検討

第62回 10月20日(金) 非公開

- ・ 「ケラチナーゼを有効成分とする洗浄剤(プリオザイム)」について検討し、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

(6) 汚染物質専門調査会

第14回 10月31日(火)

- ・ 水道により供給される水の水質基準の設定については、汚染物質・化学物質専門調査会合同ワーキンググループで審議し、その結果を本専門調査会に報告することを決定
- ・ 食品からのカドミウム摂取の現状に係る安全性確保について検討

(7) プリオン専門調査会

第 3 9 回 1 0 月 1 3 日 (金)

- ・ スイス連邦獣医局 T S E 調整官ダグマー・ハイム博士を招いて、 E F S A と O I E に
おける B S E リスク評価について講演及び意見交換を実施

(8) かび毒・自然毒等専門調査会

第 6 回 1 0 月 3 0 日 (月)

- ・ 座長を選出するとともに専門調査会の運営等について説明
- ・ 専門委員から、かび毒・自然毒等に関する最近の動向及び今後の展望について紹
介及び意見交換を実施

(9) 遺伝子組換え食品等専門調査会

第 4 1 回 1 0 月 1 7 日 (火) 非公開

- ・ 「 S P E Z Y M E F R E D ™ 」及び「 S P 9 9 0 (リパーゼ) 」について検
討

(1 0) 新開発食品専門調査会

第 4 1 回 1 0 月 3 1 日 (火) 非公開

- ・ 「明治満足カルシウム」, 「カルシウム強化スキム」及び「キリン ブナハ
リ茸」について検討し、及び に関して国民からの意見・情報の募集を行うこ
とについて食品安全委員会に報告することを決定

(1 1) 汚染物質・化学物質専門調査会合同ワーキンググループ

第 4 回 1 0 月 1 8 日 (水)

- ・ 水道により供給される水の水質基準の設定について検討し、汚染物質専門調査会
及び化学物質専門調査会へ報告することを決定
- ・ すでに本ワーキンググループで検討を終了した 6 物質について暴露状態の追加案
を検討し、汚染物質専門調査会及び化学物質専門調査会へ報告することを決定
- ・ 「 1 , 1 -ジクロロエチレン」, 「シス- 1 , 2 -ジクロロエチレン」, 「トラ
ンス- 1 , 2 -ジクロロエチレン」及び「テトラクロロエチレン」について検討
し、及び に関して汚染物質専門調査会及び化学物質専門調査会へ報告す
ることを決定

3 . 意見交換会等の開催

(1) 意見交換会

1 0 月 1 0 日 (火) 食品安全フォーラム in とやま < 富山県富山市 >

- ・ 食品安全委員会、厚生労働省及び富山県の主催により富山県富山市にて開催し、小
泉直子食品安全委員会委員から「食品安全委員会の役割とリスク評価事例 (魚介類

のメチル水銀と大豆イソフラボンを例として)」のテーマで、厚生労働省から「リスク評価を踏まえた食品の安全確保のための厚生労働省の取組」のテーマで講演を行うとともに、会場参加者との意見交換を実施

10月13日(金) 食品に関するリスクコミュニケーション(東京) - 世界におけるBSEリスクとその評価について - <東京都千代田区>

- ・食品安全委員会の主催により東京都千代田区にて開催し、スイス連邦獣医局TSE調整官ダグマー・ハイム博士から「世界におけるBSEリスクとその評価について」のテーマで講演を行うとともに、野村一正食品安全委員会委員をコーディネーターとして、消費者、食品関連事業者、科学者の立場のパネリストを迎えてパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施

(2) 関係団体等との懇談会

10月26日(木) 農薬工業会と食品安全委員会委員との懇談会(第2回)

- ・農薬工業会から、事業説明及び委員会に対する要望が述べられた後、農薬に関する迅速な審議や企業の知的財産権に配慮した評価・審議の方法等について、意見交換を実施

4. その他

10月18日(水) 食品の安全性に関する地域の指導者育成講座(東京)

- ・食品安全委員会及び(独)農林水産消費技術センターの主催で開催し、畑江敬子食品安全委員会委員から「食品安全とその安心への取組について」のテーマで、(独)農林水産消費技術センター佐藤恵消費者情報部長から「食品リスクと食品の表示」のテーマで講演を行うとともに、講師の順天堂大学医学部堀口逸子博士からのリスクコミュニケーションと演習に用いるゲーミングシミュレーションについての説明後、参加者がグループに分かれ演習を実施

季刊誌「食品安全 - 共に考えよう、食の科学 - vol. 10」を発刊